

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【 施策名：Ⅱ. 計画・設計・施工の最適化 【1】 計画・設計の見直し 施策8 】

耐震補強方法の見直しによる内部改修の縮減

工事名：登山研修所（10）トレーニング室耐震その他改修工事

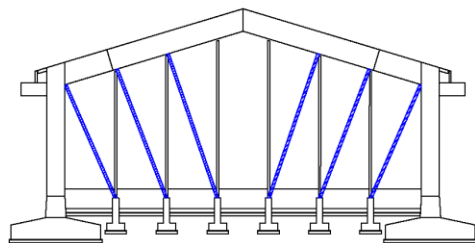
概要：補強ブレースが設置される妻側壁の内側には、スポーツ・クライミング用の人口壁が設置されており、その撤去・再取り付けには多額の費用が必要だったが、補強方法の見直しにより、建物内部側からの施工が不用となり、人口壁の撤去・再取り付けや内部取り合いに要するコストを縮減できた。

効果

当初の補強案では、既存の柱間に補強ブレースを設置する計画だったが、補強方法を見直し、既存躯体の外部側に柱・大梁、基礎梁を新設し、そこに補強ブレースを設置することで、建物内部の改修を省略することができた。

工事費を **41百万円** から **34百万円** に縮減（縮減額 **7百万円** 縮減率 **約17%**）

（当初補強案）既存柱間での耐震補強



（今回補強）既存躯体の外部に耐震補強

